

今日の力

アंक・ヤング
テキサス州 アビリン

10月30日(火)

自分でできるではなく

聖書朗読 I サムエル 15:16~28

主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。
ヤコブ 4:10

私たちは、2歳になる子どもによって驚かされています。その子は、難しいことに全身で挑戦し、「自分でできるよ!」と宣言します。しかしながら私たちは、この2歳児が学びながらも、まだもっと経験と知恵と技術のある誰かに頼っているということを知っています。子どもが助けを求めるとき、その子の「学び」が本当に始まるのです。

サウルは、「あなたはあなた自身の目のなかに、かつて小さかったが、」自分で、自分の方法で物事をすることができると考えました。サウルは、神様に従わず背いて、神様に頼ることからはなれてしまいました。

私たちは、我を頑固に通す子どもを笑い、サウルの不従順を批判します。しかしながら、私たち自身もまた、神様へ頼るという視界を、何度も失っています。神様の知恵に頼るより、むしろ私たちの知恵をもとに決断や決定をしています。

今日、私たちが人々や物事に自分なりに対処するとき、私たちが神様に頼り、どの道においてもその導きを頼みとできますように。

あなたの人生を生きるには、二つの道があるのみ。
片方の道は、奇跡とはまったく関係がないが、
もう一方の道では、すべてが奇跡である。
—— アルバート・アインシュタイン

聖歌 490

祈り お父様。私たちは完全に、あなたとキリストを通じた祝福に頼っています。私たちは祈ります。あなたが生命を与えてくださる方であり、またイエス様が私たちの救い主であると悟ることができますようにと。

イエス様の御名において。アーメン。

アニータ・プライス
テキサス州 ラボック

10月31日(水)

ただ自分の仕事をしているだけでも

聖書朗読 使徒 22:30~23:10

ところが、主は群れを追っていた私をとり、主は私に仰せられた。『行って、わたしの民イスラエルに預言せよ。』と。
アモス 7:15

囚人のパウロは、まさにムチ打たれようとしていました。そのとき、一人の千人隊長がパウロがローマ市民だと聞きつけ、ムチうちの刑を止めさせました。その隊長の名は後でわかりますが、クラウデオ・ルシヤといいます。彼は、のちにユダヤの群集によって殺されそうになるパウロを保護するように、命令を出します。あなたは、今までにこの千人隊長が出した命令について深く考えたことはありますか？ 隊長は、たぶん、ただ自分の仕事をしただけだと言うでしょう。しかし、もうすこし読み進めて、彼のしたことについて知りたいと思いませんか？

主がペテロの船を借りたとき、ペテロはただ自分の仕事（魚とり）をしていただけでした。サムエルがダビデを訪ねたとき、ダビデはただ自分の仕事をしていました。イエス様がマタイのもとへ歩いてこられたとき、マタイは自分の仕事をしていました。

メリーランド州の国立健康院で医者として働くボブは、無神論者でした。彼は余命いくばくもない患者ハロルドに会い、数か月の間彼の深い信仰に動かされました。そして、ボブは彼の妻ラカーエとともにクリスチャンになりました。ボブはただ自分の仕事をしていただけですが、そうしながら神の国に属する人の一人に出会ったのです。

私たちが昼食をとる前に、短くお祈りをするとき、誰か神の国に属する人に会うかもしれません。誰かがそのスピーチのなかで「主の御心により」というすばらしい節を盛り込むかもしれません。または、誰かがオフィスの本棚の聖書を見ないといえるでしょうか？ これらのことをする人たちはみな、ただ自分たちの仕事をしていると思っているかもしれません。しかし、主は彼らを「主のための正しい道」の中へ、導いているのかもしれません。

讃美歌 391

祈り 愛するお父様。私たちの内面にある、あなたの美を、私たちの周りの人々に見せることができるように、助けてください。
イエス様の御名において。アーメン。

テッド・N・トーマス
テネシー州 ジョンソン・シティ

11月1日（木）

それは今日かもしれません

聖書朗読 ルカ 12:42～48

あなたがたも用心していなさい。人の子は、思いがけない時に来るのですから。
ルカ 12:40

毎年、山頂に雪が到来する頃になると、私たちは驚きを感じます。「ああ、もうそんな頃になったか」と、感歎のため息をもらしながら、その白い頂を仰ぎ、そしてあわただしく冬支度に取りかかるのです。もちろん私たちは、冬が毎年来ることを知っていますが、しかしなんとなく、それが来るということを期待していないのです。

多分、主が帰って来るときも、このようであるのかもしれませんが。確かに、私たちは主が帰ってくるということを知っています。しかし、本当には、歓喜をもって主を迎え入れる準備で、それを期待していません。パウロは私たちに言っています。「主の日は、真夜中の泥棒のようにやってくる」。私たちは、毎日を、主が現れるであろうと思って暮らす必要があります。今日がその日だと、私たちが確かに知っているのなら、することになっている事々をもはや遅らせてはいけません。

初期のクリスチャンは、地面の「墓」ではなく、
空の「栄光」に葬られることを求めた。
彼らは、葬儀屋によって地面に帰することではなく、
天の御手により昇天することを目指したからである。

———— アレクサンダー・マクラーレン

聖歌 714

祈り お父様。私は今日あなたを求めています。あなたにより励まされ、私が愛と親切を他人に対して行うことができますように。
イエス様の御名において。アーメン。

キャシー・ドーキンス
アラスカ州 ケチカン

11月2日（金）

魂のための天使の食物

聖書朗読 I列王記 19:1～9

エリヤは彼女に言った。「恐れはいけません。行って、あなたが言ったようにしなさい。しかし、まず、私のためにそれで小さなパン菓子を作り、私のところに持って来なさい。それから後に、あなたとあなたの子どものために作りなさい。

I列王記 17:13

よく知られている「魂のためのチキンスープ」という本には、私たちの心を高めてくれる実話が集められています。この楽しく覚えやすい題名は、チキンスープに入っていると考えられている癒しの力から来ています。

エリヤは、神様の奇跡の力をかんばつによって示しました。しかし、王アハブとその妻イゼベルは、エリヤを殺すつもりでした。それを知り、エリヤは逃げました。

エリヤは逃げ、疲れ果て、預言者として意気消沈したとき、天使によって触れられました。そしてパン菓子とつぼの水によって生き返ったのです。同じことが二回起こり、そのたびにエリヤは強められました。

病人、喪中の人、飢えている人に食べ物を持っていくことは、人々に仕えるすばらしい方法です。あなたを気づかう人が持ってきてくれた食物によって引き起こされる慰めは、ほかにくらべるものがありません。私たちが人間の生身の身体である以上、私たちは食べ物という形によって滋養を得なければなりません。

調理したものでもなく？好きなレストランでのおいしいもてなしなら大丈夫。誰か今日傷ついている人へ一皿の食べ物を持っていきなさい。そうすれば、あなた自身の生活がいかに豊かなものとされ、祝福されることか。

讃美歌 390

祈り 主よ。今日、私が気高い精神をもって、傷ついている誰かの心に滋養をもたらすことができますように。
イエス様の御名において。アーメン。

ラレンダリリス・ロバーツ
カリフォルニア州 サウザンドオークス

11月3日（土）

こころからの応答

聖書朗読 ローマ 2:12~16

あなたの救いの喜びを、私に返し、喜んで仕える霊が、私をささえますように。
詩篇 51:12

子どものころ、私の母が車の中や台所で、やんちゃな少年だった私にお説教をするとき、私は縮こまって聞いていました。そのときの母は恵み深く、私に真珠のような知恵を授けてくれました。だから私は愛想よく「うん、うん」と聞いていました。

母は時々、私が母のお説教を、耳から耳へと聞き流しているだけだと言って責めました。それは正しい行いでした。私は母が言ったことをたとえ聞いていてさえ、本当には聞いていなかったのです。今、私は思います。もっとちゃんと母の役立つ説教を聴いておけばなあと。母の有益な教えに対し、私は単に機械的な返事を繰り返していたのです。

神様は、私たちに有益となる神の法をくださいました。しかし、私たちが神の教えに行動をもって応えなければ、「法によって正しくなった」と宣言することはできません。もしみことばを聞き、神の法を学んでも、耳から耳へ聞き流しているなら、いったいどんな良い意味があるでしょう？ 神様の教えを学んだことのない者たちとまったく同じではありませんか？

神様の教えを聞くだけでは十分ではありません。私たちは本当に聴き、そして喜んで仕える心をもって主へ応えることが必要です。

讃美歌 332

祈り お父様。あなたのみことばによって私たちは祝福されます。私たちの精神があなたのみことばを、本当に、喜んで仕える心をもって聞きますように。そして、私たちの心のうちにわき出る神の法に従うことができますように。イエス様の御名において。アーメン。

ジャンク・ウィリス
カリフォルニア州 マリブ

11月4日（日）

主の栄光に囲まれて

聖書朗読 使徒 24:1~9

もしキリストの名のために非難を受けるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださいからです。
I ペテロ 4:14

もし今までに、栄光の御霊、すなわち神の御霊がその上にとどまったことがあるとしたら、それは使徒パウロの上にてでしょう。無実の罪で牢に囚われ、裁判にかけられ、迫害者たちの前に一人で立ち向かわなければなりません。パウロは人々により見捨てられました。しかし、神様の栄光によって囲まれていました。

現実の世界では、誤った告発を受けたとしても、私たちはけっしてキリストのようにはいきません。そして、私たちがいわれのない侮蔑に謙虚に耐えているとき、キリストの御霊は、いつもはつきりとした助け手として現れるわけではありません。世の中は、私たちの信仰を裏切るかもしれませんが、それでも、私たちは神様が私たちを祝福し、守り手となってくれるということを思いこいなければなりません。

栄光の御霊は、不信仰な配偶者によって嘲笑されたクリスチャンの上にとどまります。栄光の御霊は、仲間から間違って告発された弟子の上にとどまります。栄光の御霊は、自分の信仰に反目する職場にいる信者の上にとどまります。もしあなたがキリストの名のために非難を受けるなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊はあなたの上にとどまります。

讃美歌 39

祈り 親愛なる主よ。私が侮蔑に耐えられるように力づけてください。そして私の信仰があざ笑われる痛みから、私を守ってください。不幸のなかでも、あなたの存在を悟ることができるように助けてください。
イエス様の御名において。アーメン。

アラン・C・H・アンダーウッド
ミシシッピ州 ヘルナンド